

平成 20 年度 第一回幹事会議事録

能代高校東京同窓会

日時：平成 19 年 9 月 8 日（土）14：45～16：00

場所：築地社会教育会館 3 階 第三洋室
東京都中央区築地 4 - 15 - 1

出席：出席者 25 名

山縣輝輔 24・畠山信孝 26・八柳昭義 26・佐々木章 26・
太田勝治 29・石川正順 29・熊谷幸夫 30・西川廣正 34・
深井 学 36・豊嶋 誠 38・大塚 進 39・菅原 渉 39・
小河範也 41・庄内俊憲 44・三浦 洋 45・袴田邦夫 45・
大塚雄蔵 45・石井 喬 46・吉田真由美 46・斉藤靖雄 46・
田村盛仁 49・片谷浩之 49・松永京子 49・淡路和子 55・
大高忠勉 62・

議事録署名人：袴田邦夫 45・淡路和子 55

議事録作成人：松永京子 49

【会長挨拶】

太田勝治会長から「本日皆さんの協力で会報の発送準備を終えることが出来、早速発送も完了したので、あさって 9 月 10 日（月）ぐらいには各会員の手元に届く予定である。平成 20 年度の総会まであと 1 ヶ月ちょっとになり準備も忙しくなると思うが、皆さん協力を宜しく。」との挨拶があった。

菅原幹事長が議長を務め幹事会の議題に入った。

【報告事項】

会報の発送に関して

去年は封書での発送 451 名、往復はがきでの発送 660 名だったが、今年は封書 586 名、往復はがき 657 名になった。

封書扱いが前回幹事会で報告した予定数より大幅に増えたのは、皆さんから要望があった分を封書扱いに変更したことと、今年の総会の講演講師である若松氏と同期の 27 期生と、アトラクションゲストの金野氏と同期の 38 期生を全て封書扱いにした為である。

特に 38 期生の「反応無しグループ」に関しては、今年度は案内を送付しない年度だったが、前述の理由により、急遽全員に封書で発行することになった。最終的には、封書・往復はがき合わせて 1,243 通になり、昨年より 132 通多い

案内書の発送となった。

これは東京同窓会名簿の約 67 %に相当する数字になる。(菅原幹事長)

【審議事項】

総会議案書の内容について

佐々木財務委員長より

平成 19 年度の収支決算報告書に関して説明をした。(別添の平成 19 年度収支決算報告書参照)

「今年度の決算は約 11 万円の黒字になったものの、地元新聞への賀詞広告を取りやめたり寄付金によるところであり、内容から見ると決して楽な収支状態ではないので、引き続き会員を増やし収入も増やしていかなければならない。」

菅原幹事長より

「この内容で先ほどの監査会に於いて、山縣・畠山両監査役からも承認を頂きました。」との報告があった。

特に質問も無く、決算内容は承認された。

平成 20 年度の予算案について(別添 平成 20 年度予算案参照)

菅原幹事長より

- ・ 事業内容は昨年度とほぼ同じである。
- ・ 「東京同窓会だより」を昨年度の 1 回発行から 2 回発行出来るような予算案にした。
- ・ 会報制作費は昨年比少し多めに計上された。(発送数が増えたことと、回答数アップの為、往復はがきを二種類にするなどの工夫をした為)
- ・ 総会の出席者を昨年比約 15 %程増加の 120 名分で計上。
- ・ 本校での行事などへの役員等の出張交通費に関して。
現在は深夜バス利用を想定した最低料金の片道 10,000 円×2 で 20,000 円としているが、実態に即してせめて新幹線が利用可能なように片道 15,000 円×2 で 30,000 円に増額してはどうか?との提案があり、全会一致で承認された。

以上を踏まえ、総会提出時には各項目とも再精査の上で微調整はあることを前提に予算案は承認された。

役員改選について

今期は会長と監査役の改選期にあたり、総会に於いて承認を得る必要があることから、その人選をはかったところ

全会一致で、会長に太田勝治 29、監査役に山縣輝輔 24・畠山信孝 26 の留任が承認された。

秋高連運営委員会の委員の選任

秋高連の運営委員として、各校から 2 名を選出することになっているのでその

人選をはかったところ（任期は平成 20 年 3 月まで）

太田勝治会長が全会一致で選出された。

またもう一名の委員としては現在秋高連で活動中の畠山信孝氏 26 の継続が承認された。

総会について

当日の役割分担については次の様に承認された。

議長：石井 喬 46

議事録署名人：石川正順 29・三浦 洋 45

総会の司会者：小河範也 41

来賓挨拶：田中仁純同窓会会長

懇親会の司会者：和平忠幸 47・大高忠勉 62

開会の言葉：高田政勝副会長 32

来賓挨拶：井上高廣校長・斎藤滋宣市長（未定）

乾杯：小林 肇顧問 19

中締め、万歳三唱：関根市男副会長 29

受付：吉田真由美 46・田村盛仁 49・松永京子 49 他

会計：片谷浩之 49・淡路和子 55

校歌斉唱について

昨年までは総会で行っていたが仕事等の関係で総会に間に合わなかった会員から「皆で肩を組んで歌いたかった」との意見が多数あった。このため、今年度は懇親会で校歌斉唱を行うこととした。

受付時の混乱を防ぐ工夫について

今年度は、懇親会費に各種割引制度を設定したので、事前に会員毎に受領すべき金額を記載した受付簿を準備して受付に置いておく。（昨年実施済）
来場者に卒業期を質問しても答えられない人がいるので、

年生まれ 期

とすぐ判明するような早見表を受付に用意しておく。

出席者の増員について

昨年度の総会の出席者は 103 名だったが、今年は約 120 名を予定している。各同好会や各期の同期会の窓口担当の人にも声をかけて、より多くの出席者になるように促していきたい。

来週ぐらいから出欠の回答はがきが到着し始める。リアルタイムに出欠の回答状況を HP 上に載せるので、回答が遅れている様な人には各期の幹事からも出席を呼びかけて頂きたい。

プロジェクタの使用について

井上校長より「総会当日にプロジェクタを使用してお話をしたい」との要望があったが、使用の可否については如何かとの質問があった。（三浦 45）

菅原幹事長が会場のアルカディア側に確認し、結果を ML で流す。

着替え場所の確保について

懇親会のアトラクション・ゲストの各氏には、今回は控え室を準備することが出来ないので、会場のアルカディアに常設されている更衣室などを利用して頂く。菅原幹事長が会場のアルカディア側に確認する。

アトラクション・ゲストの金野氏に関して

「演奏の合間に高校時代のエピソードなどを交えて頂きながらお願いしては？」「演奏して頂く曲目もなるべく皆の知っているものを入れて頂き、バラエティに富んだ構成で全3～4曲でお願いしては？」「懇親会という性格上あまり長くなると場が持たなくなりかえって奏者に失礼になる」（吉田 46 他） 小河副委員長の方よりお願い調整する。

同窓会名簿の活用について

「自分の期の動員の為に使用」ということで同期生名簿をお願いされることがあるが、同窓会の為に使用する目的で且つ扱いを慎重にすることであれば名簿をもっと活用すべきでないか、また提供に関してもその都度幹事会にはかるのではなく提供基準を設けた方がスムーズで良いのではないかと意見があった。

話し合った結果、申請する者が幹事に限り、同窓会の目的の為に使用する場合には、必要最小限の名簿資料を提供出来ることが承認された。

* 幹事は幹事会に於いて身元が確認出来ること、個人情報取り扱いの重要性に関して周知していること、他の目的に流用しないことの申し合わせが出来ていることから、幹事だけに限定したものである。

東京同窓会のHP上に氏名や卒業期が掲載されるだけでも削除を求めてきた前例もあった。そのときは速やかに氏名の削除を実行した結果、二次クレームにはつながらなかった。

HPには「氏名や写真等が掲載されて不都合な場合には申し出があれば直ちに削除する」旨を載せてあるが、クレームに対しては迅速に処置することが何よりも大事である。（菅原 39）

【連絡事項】

総会当日に受付で「おつり」が足りなくならないように、五日会のメンバーは当日、会費を千円札で納入して欲しい。（菅原 39）

五日会の役員改選について

五日会の発足時より顧問をして頂いていた大塚 39、菅原 39 は引退し今後は相談役として引き続きアドバイスを頂くことになった。

新顧問として 45 期の三浦 45、袴田 45、真崎 45 が就任。

今後五日会のメンバーは 45 期生以下とする。（石井 46・田村 49）

若い期で幹事不在の期も多くあるので、その期の幹事の推薦を願いたい。

「能高釣りクラブ」を明日9月9日(日)に実施予定である。(小河 41)

10月13日の総会当日の集合時間については後日メーリングリストを使い連絡するので協力をお願いしたい。(菅原 39)

【新メンバーの紹介】

大塚雄蔵 45期が自己紹介をした。

【閉会の挨拶】 八柳昭義 26

東京同窓会は昭和51年に能代高校同窓会「東京支部」名で発足し、昭和56年に「東京同窓会」の名称になり現在に至る。

私はこれまで約30年間この同窓会活動に携わってきた。平成3年からは当時の小林肇会長の元で事務局長をしてきた。

同窓会活動は「会員名簿」が財産だ。現在は個人情報などプライバシー保護の問題もあり大変だと思うが、昔からその問題はあった。以前は学校からもオープンに名簿が発行されていた為に、時にはその名簿を悪用され、勧誘に利用されるなどの例も見られた。

名簿の保管には十分配慮しながらも同窓会の為には大いに活用して欲しい。

この会は昭和56年の「東京同窓会」創立から数えて、創立 周年としていかれたらいいと思う。

(八柳氏は過去の資料を現幹事長宛に届けてくださった。)

以上で審議は全て終了し、議長は閉会を宣した。

上記の決議を明確にする為、議長及び議事録署名人はこれに署名する。

平成19年9月8日

議 長 幹事長 菅 原 渉

議事録署名人 袴 田 邦 夫

議事録署名人 淡 路 和 子

平成19年度 収支決算報告書

(平成18年9月1日～平成19年8月31日)

2007.08.31現在

	予 算	決 算	実施率	備 考	
	(収入の部)				
1	総会収入	740,000	674,000	91.1	
2	懇親会費	670,000	574,000	85.7	会員84名、家族1名
3	来賓ご祝儀	70,000	100,000	142.9	能代商業・能代西高(15,000円)、能代高校・本校同窓会・能代工業・能代北高・東京鳳鳴会・東京伊勢堂会・秋高連(10,000円)
4	会費収入	480,000	434,000	90.4	
5	年会費	480,000	434,000	90.4	145名 *総会初参加者は当年度分免除あり *世帯制導入 *2,000円の振込み1名
6	雑収入合計	110,040	205,607	186.8	
7	寄付金	0	42,578		「きくち、窓口募金箱」菊地忠夫(13,578円)、佐々木章(12,000円)、熊谷洋三(10,000円)、矢口裕(7,000円)
8	幹事寄付金	110,000	142,500	129.5	太田勝治(27,500円)、菅原涉(22,500円)、畠山信孝・干場革治(以上12,500円)、藤本忠治・八柳昭義・山縣輝輔・畠豊彦・豊嶋誠(以上7,500円)、金野峻明・佐々木章・大塚進・関根市男・宮腰興紀・田村盛仁(以上5,000円)
9	会報誌誌広告料収入	0	20,000		和作(加藤和海36)、きくち(菊地忠夫43)(以上10,000円)
10	受取利息	40	529	1,322.5	
11	収入の部当期合計	1,330,040	1,313,607	98.8	(1+4+6)
	(支出の部)				
13	総会費	1,065,000	945,549	88.8	
14	総会・懇親会開催費	760,000	661,689	87.1	出席者総数103名
15	会報誌制作費	170,000	176,450	103.8	会報誌・返信葉書500部、往復葉書700部
16	総会案内・会報送料	100,000	86,410	86.4	1,111名に発送 *幹事さんには幹事会の折に手渡して節約
17	総会配布資料作成費	35,000	21,000	60.0	総会の時に皆さんに配布した資料
18	組織拡張関係費	22,500	17,835	79.3	
19	同窓会だより発行費	22,500	17,835	79.3	東京同窓会だより87通郵送
20	一般管理費	240,000	233,099	97.1	
21	会議費	15,000	12,244	81.6	会議室使用料、会議資料代
22	交流費	150,000	187,500	125.0	能代工業、鷹巣農林、本校同窓会、能代商業、秋高連委員会、秋高連年会費(18・19年度分)、能代西高、大館鳳鳴、秋高連総会
23	広告費	45,000	0	0.0	
24	通信費	10,000	9,270	92.7	
25	印刷費	10,000	15,855	158.6	長3封筒1000枚
26	消耗品費	5,000	510	10.2	
27	雑費	5,000	7,720	154.4	年会費振込の際の郵便振替口座手数料
28	慶弔費	0	0	0.0	
29	支出の部当期合計	1,327,500	1,196,483	90.1	(13+18+20)
30					
31	当期収支額	2,540	117,124		(11-29)
32	前期繰越金	771,429	771,429		前年度から引き継いだ金額
33	次期繰越金	773,969	888,553		来年度へ繰り越す金額(31+32)
34					
35	現在の資産		888,553		残高確認日
36	手許現金		21,786		2007/8/31
37	郵便貯金		865,867		2007/8/31
38	郵便振替口座		900		2007/8/31

<第3号議案> 平成19年度監査報告に関する件

平成19年度（平成18年9月1日～平成19年8月31日）期末決算に於ける業務並びに会計監査を実施した結果、諸規定等にもとづき業務処理は適切に実施されており、かつ証ひょう類、伝票、帳簿等記帳整理保管、預貯金の出納業務は適正に処理されていることを認めます。

平成19年9月8日

秋田県立能代高等学校
東京同窓会

監査役

山縣輝輔

監査役

高山信孝

平成20年度 予算案

(平成19年9月1日～平成20年8月31日)

2007年9月1日

	20年度予算	19年度実績	19年度予算		
(収入の部)					
1	総会収入	850,000	674,000	740,000	
2	総会・懇親会費	780,000	574,000	670,000	懇親会費 120名の出席を予定7,000円(内初参加10名、若者参加5名)
3	来賓ご祝儀	70,000	100,000	70,000	
4	会費収入	510,000	434,000	480,000	
5	年会費	510,000	434,000	480,000	会費納入者170名を予定
6	雑収入合計	110,500	205,607	110,040	
7	寄付金	0	42,578	0	
8	幹事寄付金	110,000	142,500	110,000	飲食を伴う交流費は出席幹事の寄付金で賄われております
9	広報誌広告料収入	0	20,000	0	
10	受取利息	500	529	40	郵便貯金の受け取り利息額
11	当期合計	1,470,500	1,313,607	1,330,040	(1+4+6)
(支出の部)					
12	総会費	1,159,000	945,549	1,065,000	
13	総会・懇親会開催費	804,000	661,689	760,000	会場費・懇親会費
14	会報誌制作費	200,000	176,450	170,000	会報誌や返信葉書製作に関する費用
15	総会案内・会報送料	120,000	86,410	100,000	会報誌、総会案内状の発送費用 回答葉書(料金受取人払い)の郵便代
16	総会配布資料作成費	35,000	21,000	35,000	総会で配布する資料代
17	組織拡張関係費	50,000	17,835	22,500	
18	同窓会だより発行費	50,000	17,835	22,500	会員納入者を対象に発行 MLとの併用
19	一般管理費	255,000	233,099	240,000	
20	会議費	20,000	12,244	15,000	幹事会開催の会場費および会議資料作成代
21	交流費	180,000	187,500	150,000	本校・市内4校・友好交流高2校・秋高連 *本校行事の交通費
22	広告費	0	0	45,000	
23	通信費	15,000	9,270	10,000	幹事会案内送料・事務局内の文書通信費用
24	印刷費	20,000	15,855	10,000	封筒等の製作代
25	消耗品費	5,000	510	5,000	事務局で使用する文房具類
26	雑費	15,000	7,720	5,000	年会費振込の際の郵便局手数料
27	慶弔費	0	0	0	
28	当期合計	1,464,000	1,196,483	1,327,500	(13+18+20)
29					
30	当期収支額	6,500	117,124	2,540	(11-29)
31	前期繰越金	888,553	771,429	771,429	前年度から引き継いだ金額
32	次期繰越金	895,053	888,553	773,969	来年度へ繰り越す金額